

入院患者の嚥下スクリーニング

～今後の方針～

耳鼻咽喉科・頭頸部外科
鮫島靖浩

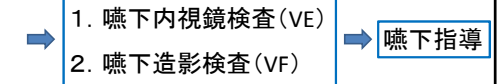
考察1: 疑い例への対応

嚥下障害疑いが1例いたが、特に対応は行わなかった。
入院2日後に鼓室形成術を行い、合併症なく16日で退院。

今後、精査や嚥下指導を検討する必要あり。

考察2: 疑い例への検査

耳鼻咽喉科外来へコンサルト



問題点

- 当科では、在院日数の短縮のため、手術前日入院が多い
- 治療前に十分検査が出来ない例もあり

考察3: 治療前に十分な検査ができない場合

- 摂食時の観察
- 食餌内容の検討
- 摂食嚥下指導(口腔衛生、ST介入)

今後の方針

- 各診療科で可能な方法でスクリーニングを実施し次回報告をお願いしたい。
- スクリーニングで陽性例は、耳鼻咽喉科での2次検査を引き受けます。